

会社情報

Corporate Data

会社概要 <small>(2025年9月30日現在)</small>	
名 称	加藤産業株式会社
設 立	1947年(昭和22年)8月22日
本 社	兵庫県西宮市松原町 9 番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー商品販売元
資 本 金	59億3,405万円
従業員数	1,152名

取締役・監査役及び執行役員 (2025年12月19日現在)

取締役	代表取締役	加藤 和 弥	取締役	取締役	大西 高 司
	取締役	中村 考 直		社外取締役	八十川 祐 輔
	取締役	日比 啓 介		社外取締役	海 保 理 子
	取締役	次家 成 典		社外取締役	青 木 英 彦

監査役	常勤監査役	池 村 昌 人	監査役	社外監査役	山 村 幸 治
	常勤監査役	呉 田 祐 次		社外監査役	中 村 明日香

執行役員	社長執行役員	加藤 和 弥	執行役員	執行役員	明 石 誠
	専務執行役員	中村 考 直		執行役員	和 田 陽 一
	専務執行役員	菅 公 博		執行役員	井 原 太 郎
	常務執行役員	日比 啓 介		執行役員	合 田 恭 典
	常務執行役員	打 田 雅 俊		執行役員	矢 部 章 一
	常務執行役員	次家 成 典		執行役員	白 石 宗太郎
	常務執行役員	大西 高 司		執行役員	井 関 信 平
	上席執行役員	松 村 努		執行役員	高 谷 賢 志
	上席執行役員	高瀬 健 治		執行役員	上 野 博 司
	上席執行役員	田 中 英 治			
	上席執行役員	中 川 吉 明			

主要グループ会社 (2025年9月30日現在)

事業内容		会社名
国内	低 温	◎ ケイ低温フーズ株式会社
	酒 類	◎ 三陽物産株式会社
		◎ ヤタニ酒販株式会社
	菓 子	◎ 加藤菓子ホールディングス株式会社
		◎ カトー菓子株式会社
卸売業		◎ 株式会社植嶋
	マレーシア	◎ Kato Sangyo Malaysia Sdn. Bhd.
		◎ Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.
	シンガポール	◎ Merison (M) Sdn. Bhd.
		◎ Teo Soon Seng Pte. Ltd.
	海外	◎ Naspac Marketing Pte. Ltd.
		◎ Nam Khai Phu Service Trading Production Co., Ltd.
		◎ Song Ma Retail Co., Ltd.
	ベトナム	◎ Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.
		○ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.
中 国		○ 上海加産貿易有限公司
		△ 深圳華新創展商貿有限公司
物 流		◎ マンナ運輸株式会社
		◎ カトーロジスティクス株式会社
メ ー カ ー		◎ 株式会社グリーンウッドファクトリー
		◎ 和歌山産業株式会社
外 食		○ 株式会社アドバンス・キッチン

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

株式情報

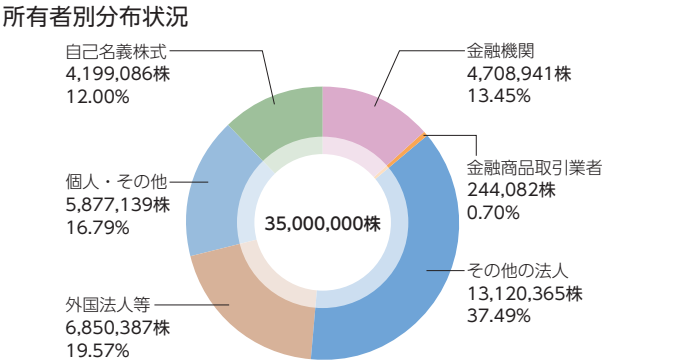
(2025年9月30日現在)Stock Information

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	35,000,000株
株 主 数	6,581名(内、単元株所有者数：5,962名)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,389	11.00
三井物産株式会社	1,576	5.11
株式会社プラスダブル	1,280	4.15
三菱商事株式会社	893	2.90
株式会社加藤興産	850	2.75
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	846	2.74
キューピー株式会社	841	2.73
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.72
カゴメ株式会社	731	2.37
JP MORGAN CHASE BANK 385632	646	2.09

※持株数は千株未満を切り捨ててにて表示しております。
※持株比率は小数点3位以下を切り捨ててにて表示し、自己株式(4,199,086株)を控除して計算しております。



株主メモ	
事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年12月
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 管 理 機 関	
同 連 絡 先	〒541-8502
(お問い合わせ先)	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
	三菱UFJ信託銀行株式会社
	大阪証券代行部
	電話(通話料無料)0120-094-777
公 告 方 法	電子公告の方法により行う
	(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)
	※公告掲載URL
	https://www.katosangyo.co.jp/irinfo/

- (ご注意)
- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

流通を最適ソリューション

VEGETABLE OIL INK

ミックス 紙に責任ある森林管理を促しています FSC® C013080

https://www.katosangyo.co.jp/



株主の皆さまへ

To Our Shareholders

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

食品流通業界では、食生活や生活者の購買行動の多様化が進むとともに、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、原材料価格も含めた仕入価格やエネルギー価格などの高止まりに加えて、人件費や物流費の上昇により、今後も商品の値上げが継続的に実施されると想定されます。また、生活者の所得環境は、賃上げの動きはあるものの、物価上昇により実質賃金は低下しており、商品やサービスの値上げが続くことで、節約志向が進行し消費マインドは冷え込みつつあります。特に日常の生活関連消費においては生活防衛意識が高まっている一方で、価値志向と節約志向の消費の二極化が進行しており、メリハリのある消費行動が定着しつつあります。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して、人々の幸せを実現すること』を目指して、デジタル技術の活用も含めて取引先との取り組み関係をより一層強化し、顧客価値の創造を推進することで、卸売機能を強化してまいります。加えて、自社ブランド商品については、商品開発や販促施策、生活者との接点作りなどにおいてブランド価値を上げながら拡販し、収益性の向上を図ってまいります。一方、物流費をはじめとした諸経費に関しては、物流関連企業との連携強化や機械

化・デジタル化の推進などにより、全ての業務を見直して生産性を向上させ、コストの抑制及び経営の効率化を進めてまいります。当社グループの成長戦略の一つである海外事業では、特にマレーシアにおいては同国最大級、ベトナム及びシンガポールにおいても同国で有力な卸売業グループとして、日本を含めたアジア地域における食品流通事業のさらなる拡大を進めてまいります。

サステナビリティの取組みについては、『毎日の食を豊かに、明日の食を守り続ける』をスローガンに、サステナビリティ委員会が中心となり活動を推進し、4つのマテリアリティ(重要課題)の解決に取り組んでおります。また、地球温暖化による気候変動は当社グループのビジネスに留まらず、人々の生活にも大きな影響を及ぼすため、事業活動で排出されるCO₂の削減を進めております。さらに、TCFDの枠組みを活用して気候変動によるリスクと機会を特定し、当社グループへの影響を分析したうえで、その対応を進め、持続可能な社会の実現に貢献するとともに永続的な企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月
代表取締役社長執行役員 加藤 和弥

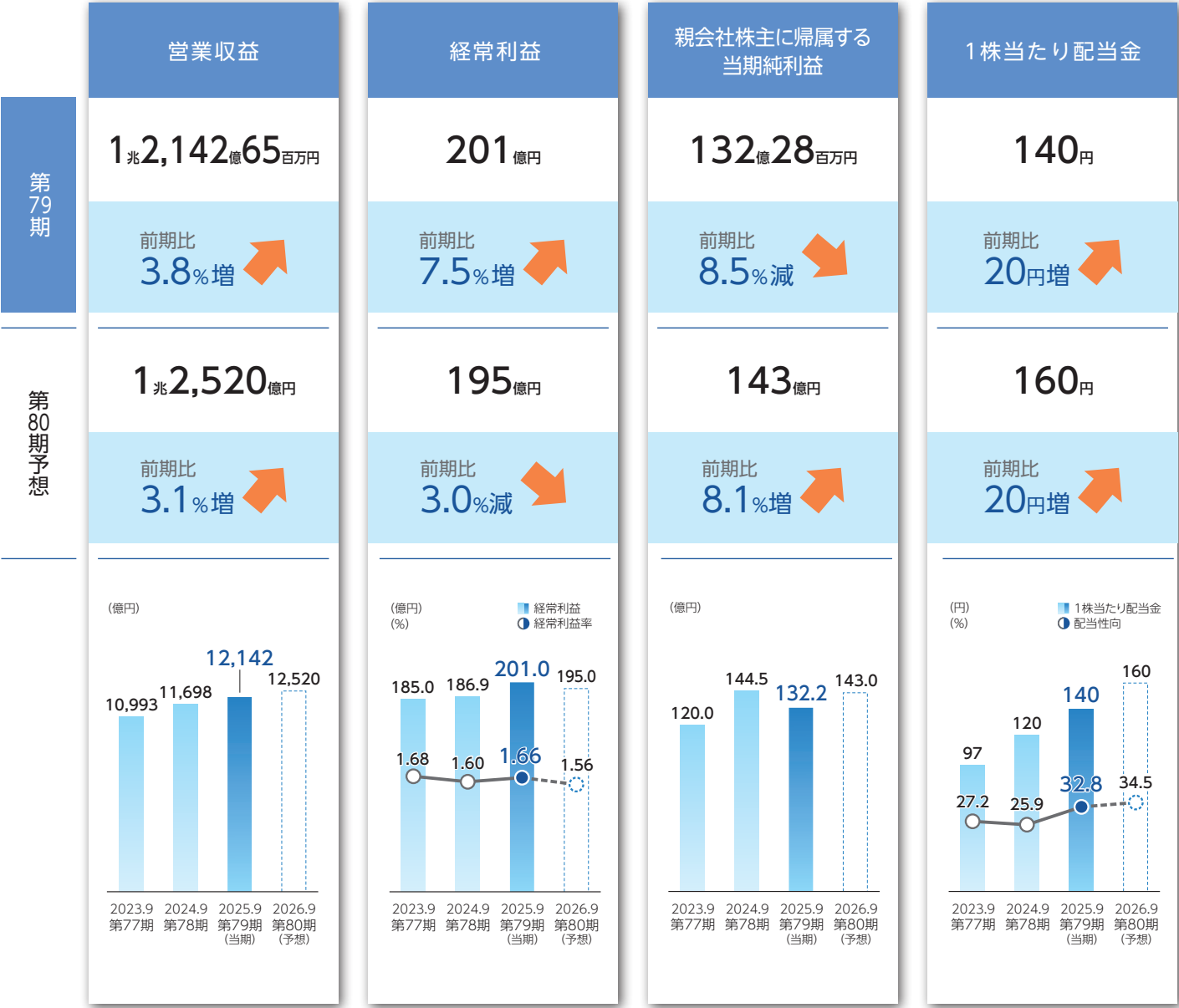
第79期 報告書

2024年10月1日から2025年9月30日まで



証券コード：9869

既存得意先を中心とした取引の増大により増収となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に政策保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益等を計上したこともあり、減益となりました。



主要な事業の概況					Segment Review
	常温流通事業	低温流通事業	酒類流通事業	海外事業	
営業収益	7,417億12百万円 (前期比3.4%増加)	1,178億95百万円 (前期比3.1%増加)	2,546億98百万円 (前期比3.9%増加)	957億46百万円 (前期比7.2%増加)	
営業利益	143億53百万円 (前期比10.2%増加)	13億25百万円 (前期比3.3%増加)	16億31百万円 (前期比17.4%減少)	1億96百万円 (前期は営業損失2億3百万円)	

※営業収益及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。
※営業利益は、のれん償却費等を含んでおります。

● 「カンピー ザ・プレミアム」ブランドから数量限定商品を発売

カンピー ザ・プレミアム 手造りジャム

①せとかみかんマーマレード ②媛まどんな®マーマレード

内容量：各320g 発売日：①2025年11月1日／②2026年2月1日(予定)
(いずれも在庫がなくなり次第終了)

ブランド柑橘「せとかみかん」「媛まどんな®」を、糖と果汁のみで丁寧に煮詰めました。

●せとかみかん
愛媛県の温暖な瀬戸内で育った、酸味が少なく濃厚な味わい

●媛まどんな®
愛媛県のみで栽培。果皮と果汁のさわやかな味わい

※媛まどんなは、株式会社乃万青果の登録商標(登録商標第6812707号)です。

● 第130回 2025 秋季総合食品展示会 開催

当社では年2回、総合食品展示会を開催しております。「流通を最適ソリューション」をテーマに、お得意様の店頭活性化に向けた企画や、生活者のニーズに沿った売場づくり・商品提案に努めております。9月17日～19日には、神戸国際展示場にて130回目となる秋季総合食品展示会を開催しました。メーカー様465社にご出展いただき、新商品やおすすめ商品の企画提案が展開されました。

さらに、当展示会に加え、年2回の新製品発表会を開催しております。これからも、お得意先様とメーカー様をつなぐ場を提供し、それぞれの価値創出活動を推進してまいります。

▲展示会場の様子

● ノウハウ共有を通じたスキルアップを目指す社内コンクール開催

業務の改善や営業力の向上・成功事例の共有による、全社的なレベルアップなどを目的として、当社では様々な社内コンクールを開催しております。今後も成果を共有し、評価される機会を設けることで、社員の達成感や相互理解を高めることを目指してまいります。

<2025年度に実施したコンクール>

- ・提案型営業成果発表コンクール(営業活動における提案事例の共有)
- ・全国物流改善事例大会(物流業務の改善事例の共有)
- ・業務改善・改革 成果発表コンクール(業務改善・改革事例の共有)
- ・ナレッジマネジメント・コンクール(営業活動におけるノウハウの共有)

▲業務改善・改革 成果発表コンクールの様子

株主優待

所有株式数100株以上

●いちごジャム ●ブルーベリージャム
●オレンジマーマレード
(各320g) 3,000円相当

毎年3月31日(中間期末日)
現在の株主名簿に記載された
1単元(100株)以上保有されて
いる株主さま1名につき、当社
オリジナル商品1セットを贈呈
いたします。

所有株式数1,000株以上

●いちごジャム ●ブルーベリージャム
●オレンジマーマレード ●株主優待 特別限定品
●ピーナッツバター(種子島産粗糖使用)
(ジャム各320g、ピーナッツバター150g) 5,000円相当

2025年 12月 2026年 1月 2月 3月 4月 5月 6月

株主優待の対象者確定 6月上旬に株主優待発送